

回復期リハビリテーション病棟実績

1 退棟患者数

	別表第九の二 【1】	別表第九の二 【2】	別表第九の二 【3】	別表第九の二 【4】	別表第九の二 【5】	退院患者 合計
令和7年10月	17	4	2	0	1	24
令和7年11月	23	4	1	0	1	29
令和7年12月	32	4	0	0	0	36

※施設基準等別表第九の二

- 【1】 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、クモ膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態
- 【2】 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態
- 【3】 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態
- 【4】 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態
- 【5】 股関節又は膝関節の置換術後の状態

2 回復期リハビリテーション病棟における実績指數 (R7.7.1 ~ R7.12.31)

①	令和7年6月30日までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退院した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	242 名
②	①のうち、実績指數の計算対象とした患者数	180 名
③	②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	4892 点
④	②の各患者の入棟から退院までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	92.4
⑤	実績指數	52.9 点

※ 「FIM」の正式名称は、「Functional Independence Measure」で、日本語で機能的自立度評価法といいます。最も臨床で使用されているADLの評価法です。